

	公表	事業所における自己評価総括表
--	----	----------------

○事業所名	トータルサポートライトブレイン上飯野校			
○保護者評価実施期間	2025/12/1		～	2025/12/31
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	44人	(回答者数)	24人
○従業者評価実施期間	2026/1/16		～	2026/1/23
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7人	(回答者数)	7人
○事業者向け自己評価表作成日	2026/2/3			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	プログラムやセラピー、イベントなど児童が楽しめる多様な活動を提供している。	<ul style="list-style-type: none"> ・季節ごとの体験を職員で考えている。 ・年間を通して活動の狙いや活動が重複しないように設定している。 ・子どもたちの発達レベルに合わせた支援を行っている。 ・個別に支援が必要な児童には横にいる先生と一緒にいるなど工夫をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの「やってみよう」という気持ちを引き出す。 ・子どもが主体となりイベントなどの活動を考える。
2	定期的に全ての保護者と面談を行い、職員間で共有し、支援に活かされている。	<ul style="list-style-type: none"> ・個別支援計画を支援前に確認している。 ・支援後に個別支援計画を踏まえた振り返りを行っている。 ・モニタリングや原案で振り返りをした記録をもとに話し合いを行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返りを含めて次の支援に行かせるように共有記録を行う。 ・振り返りが出来ていない日もあるので、出来ない日は記録の時間を早める。
3	子どもの「やりたい」「楽しい」「できた」という気持ちを大切に、安心できる関係性の中で主体性や社会性を育む支援を行っている。	<ul style="list-style-type: none"> ・できないことの克服に焦点を向けず、「できた」ことに注目して支援を行っている。 ・職員間での共有や振り返りを通して、子どもの変化に気が付き成長したことに目を向けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「できた」ことを子供にも共有をする。 ・子ども本人の思いや希望を丁寧に聞き取り、支援の意図や判断基準を職員間で共有しながら事業所全体で一貫した支援体制に強化していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	一人一人の利用者の望む環境確保が難しい時がある。(例：時間差で下校してくる利用者の宿題時の静かな環境づくりが難しい時がある。)	<ul style="list-style-type: none"> ・集中して学習に取り組める空間があればよいが場所の確保が難しい ・運動スペースなど体を動かす別の遊びがしたい時に子どもたちのやりたい遊びの時間や場所の確保が難しい 	<ul style="list-style-type: none"> ・時間・空間を決めて活動をする ・イヤーマフや囲いなどを使用して静かな環境を作る。
2	資格や要件が必要な業務に関して要件を満たしている職員の属人的な業務になっている。	<ul style="list-style-type: none"> ・資格取得・要件を満たすためには一定の期間が必要であり、時間を要する 	<ul style="list-style-type: none"> 資格取得、要件を満たすために研修に参加したり、実務経験を積んでいる
3	保護者間の情報交換や交流を行える場が十分に設けられていないため、要望等が多くなれば機会を設ける必要がある。	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアレントトレーニングなど父母参加の機会があったが、参加率が著しく低く無くなってしまった。 ・日々の支援や運営に重点が置かれており、保護者交流など計画的に取り組む体制や時間の確保が十分でない 	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート等で父母会の必要性の有無の調査をする ・無理のない範囲で保護者間の繋がりを段階的に増やしていきたい